

市の取り組みの満足度 1 位は「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」
平成 30 年度「三島市市民意識調査」調査結果の特徴について

市民の皆さまの意見や要望を市政の参考とするため、市民意識調査を実施しました。

ここがポイント！

- 三島市の市民意識調査は第 4 次三島市総合計画に対応し、「総合計画の指標」「市の取り組みの満足度」などを進捗状況や経年変化がわかるように調査しています。
- 「住環境の満足率」と「市への愛着率」は、調査開始以来、最高値。
- 市の取り組みの満足率 1 位は「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」72.8% (平成 29 年度+1.6%)。
- 市民の幸福感は国の平均より高くなっています。

1 調査方法

市民から単純無作為抽出した 18 歳以上の男女 2,000 人を対象として、郵送及びインターネットで調査。有効回収数は 1,116 件 (内、ネット回答 170 件)、回収率は 55.8%で、29 年度より 2.7%減少しました。

2 調査の内容

【継続調査】

- ・「居住環境」について
- ・「総合計画の指標に関する項目」について
- ・「幸福感」について
- ・「環境への取り組み」について
- ・「災害対策」について
- ・「文化的環境」について
- ・「市の取り組みの満足度」について
- ・「自治会・町内会での活動」について
- ・「健康」について
- ・「市議会広報活動」について
- ・「男女共同参画」について
- ・「障がいのある人への理解」について

【新規調査】

- ・「公共施設の老朽化」について
- ・「図書館」について
- ・「公共交通」について

3 平成 30 年度の結果の特徴

特徴 1 「住環境の満足率」や「市への愛着率」が高くなっています。

(1)毎年高い満足率を得ているもの

「住環境の満足率」90.4% (29 年度 90.0%) は、平成 15 年度の調査開始以降最高値となっています。(満足率=「満足」+「やや満足」)

「三島市への愛着率」86.4% (29 年度 84.6%) も、平成 15 年度の調査開始以降最高値となっています。(愛着率=「非常に愛着を感じる」+「やや愛着を感じる」)

(2)生活環境の満足率

「水のきれいさ」79.3%(前年度 75.2%)、「空気のさわやかさ」73.0%(前年度 68.4%)、「身近な緑や自然の量」63.5%(前年度 62.6%) が上位 3 項目となりました。

特徴2 将来の三島市像については、健康、福祉、自然、環境に引き続き期待が集まっています。

(1)三島市が将来どのような都市になったらよいか

上位2項目である「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」、「自然や環境に優しい安らぎのある都市」への期待が継続しています。また、3位の「歴史や文化を大切にした風格ある都市」への期待が上昇しています。

三島市がどのような町になったらよいか（1つ選択）

将来都市像		H30 (前年比)	H29 (順位)	H28 (順位)	H27 (順位)	H26 (順位)	H25 (H30比)
1位	保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市	31.3 (-2.5%)	33.8 (1位)	31.3 (1位)	33.9 (1位)	36.1 (1位)	①33.8 (+2.5%)
2位	自然や環境に優しい安らぎのある都市	17.7 (-0.6%)	18.3 (2位)	16.2 (2位)	17.2 (2位)	15.6 (2位)	②19.7 (+2.0%)
3位	歴史や文化を大切にした風格ある都市	14.1 (+3.1%)	11.0 (3位)	13.1 (3位)	12.8 (3位)	11.2 (4位)	④10.6 (-3.5%)
4位	災害に強く安全で安心して暮らせる都市	10.8 (-0.1%)	10.9 (4位)	12.8 (4位)	8.2 (5位)	12.4 (3位)	③11.4 (+0.6%)
5位	観光客が多く、商業が活性化された人が集まるにぎわいのある都市	7.5 (-0.5%)	8.0 (5位)	5.9 (7位)	7.0 (6位)	6.4 (6位)	⑥6.6 (-0.9%)
6位	活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちた都市	7.3 (-0.6%)	7.9 (6位)	6.9 (5位)	9.0 (4位)	6.7 (5位)	⑤6.8 (-0.5%)
7位	公園や道路、下水道などの生活基盤が整備された都市	6.0 (+2.0%)	4.0 (7位)	6.8 (6位)	6.0 (7位)	5.6 (7位)	⑦5.6 (-0.4%)

(2)将来の都市規模

「現状のまま、人口11万人程度」に次ぎ、「伊豆地域を代表する都市、人口15～19万人程度」が多く、3番に「県東部の中核都市、人口30～40万人程度」が続きました。

「人口20万人程度」と、「人口70万人程度」は低率となっています。

将来の都市規模	H30	H29
現状のまま、人口11万人程度	36.7%	36.7%
伊豆地域を代表する都市、人口15～19万人程度	32.8%	33.4%
県東部の中核都市、人口30～40万人程度	17.7%	16.8%
人口20万人程度	6.1%	7.4%
人口70万人程度	4.7%	4.3%

特徴3 「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」の満足率が高くなっています。

(1)満足率上位5項目

市の施策についての市民の満足率は、「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」が高くなっています。また、「観光・イベントの振興」の満足率が上昇しています。

(2)不満率上位5項目

例年上位の5項目は不動。「三島駅周辺（北口・南口）」の不満率が高くなっています。

▼項目別満足率(=「満足」+「やや満足」)

項目別満足率		分類	H30 (前年比)	H29 (順位)	H28 (順位)	H27 (順位)	H26 (順位)	H25 (H30比)
1位	せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり	都市基盤	72.8 (+1.6%)	71.2 (1位)	69.4 (1位)	60.9 (1位)	69.3 (1位)	①64.6 (-8.2%)
2位	「広報みしま」による市政情報の提供	協働 行財政	56.3 (-1.4%)	57.7 (2位)	59.6 (2位)	53.3 (2位)	58.6 (2位)	②55.6 (-0.7%)
3位	美しい景観(都市・自然・歴史)の保全・形成	都市基盤	53.4 (+1.7%)	51.7 (3位)	53.7 (3位)	43.7 (5位)	48.0 (4位)	③47.7 (-5.7%)
4位	公園・水辺空間の整備	環境保全	47.5 (-1.6%)	49.1 (4位)	49.2 (4位)	44.2 (3位)	49.6 (3位)	④47.0 (-0.5%)
5位	健康診査、健康相談等の健康増進	健康福祉	44.2 (+0.2%)	44.0 (5位)	45.3 (5位)	43.0 (6位)	42.9 (6位)	⑤41.2 (-3.0%)
〃	観光・イベントの振興	産業振興	44.2 (+4.1%)	40.1 (7位)	42.1 (7位)	32.7 (10位)	34.4 (12位)	⑥30.1 (-14.1%)

▼項目別不満率(=「不満」+「やや不満」)

項目別満足率		分類	H30 (前年比)	H29 (順位)	H28 (順位)	H27 (順位)	H26 (順位)	H25 (H30比)
1位	歩道の整備	都市基盤	42.8 (+3.0%)	39.8 (1位)	38.4 (1位)	42.2 (1位)	41.9 (1位)	①44.7 (+1.9%)
2位	三島駅周辺(北口・南口)の整備	都市基盤	38.5 (+5.9%)	32.6 (4位)	34.7 (4位)	32.9 (4位)	33.0 (5位)	④36.7 (-1.8%)
3位	生活道路の整備	都市基盤	37.3 (+1.3%)	36.0 (3位)	35.5 (3位)	40.0 (2位)	37.4 (2位)	②40.2 (+2.9%)
4位	バスなどの公共交通の充実	都市基盤	36.7 (+0.5%)	36.2 (2位)	36.3 (2位)	33.5 (3位)	35.7 (3位)	⑤34.1 (-2.6%)
5位	にぎわいのある商業・商店街づくり	産業振興	30.5 (-0.9%)	31.4 (5位)	27.1 (5位)	30.4 (5位)	34.2 (4位)	③39.8 (+9.3%)

特徴4 市民の幸福感は国の平均より高くなっています。

『現在あなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思われますか。』の問いに対し、市民の平均点6.83は昨年度より上昇しました。また、国の平均点6.38(※)より0.45点高く、自分が幸福と感じている人が多くなっています。

	H30	H29	H28
幸福感平均点	6.83	6.64	6.80

※厚生労働省「健康意識に関する調査」より(対象20歳以上・5,000人)平成26年2月実施

また、幸福感を判断する際に重視する事項は、平成 26 年度から変化していません。

- ① 健康状況 ② 家族関係 ③ 家計の状況 ④ 精神的なゆとり ⑤ 自由な時間

幸福感を判断する際の重視事項（複数回答可）

項目		H30 (前年比)	H29	H28	H27	H26 (H30 比)
1 位	健康状況	57.3 (-3.4%)	60.7	62.8	61.0	60.7 (+3.4%)
2 位	家族関係	56.7 (-0.3%)	57.0	55.9	54.0	58.6 (+1.9%)
3 位	家計の状況	51.5 (+3.6%)	47.9	50.6	50.1	50.7 (-0.8%)
4 位	精神的なゆとり	38.3 (-2.4%)	40.7	41.3	37.1	44.2 (+5.9%)
5 位	自由な時間	35.0 (-0.8%)	35.8	35.6	34.6	29.7 (-5.3%)

平成 30 年度新規調査項目について

(1) 公共施設の老朽化

「公共施設の老朽化問題」について尋ねたところ、「内容をあまり理解していないが関心がある」が53.2%、次いで「内容を理解しており関心がある」が12.8%となりました。

(2) 図書館

「市内の図書館(図書館、中郷分館、移動図書館ジンタ号)の利用状況」について尋ねたところ、「利用したことがない」が34.8%、「1年以内にはないが、それ以前には利用がある」が34.6%、「1年以内に利用したことがある」が29.8%となりました。

(3) 公共交通

「公共交通(電車、バス、タクシー)の利用状況」について尋ねたところ、「年に数回」が40.8%、次いで「月に2~3回」が15.9%となりました。